

番組審議会報告

2002年7月開催 番組審議会報告

FMヨコハマでは下記のとおり、番組審議会を開催いたしました。

記

開催年月日	2002年7月18日（木）15：00～16：00		
出席者	番組審議委員 （敬称略）	村山委員、木下委員、牛頭委員、近澤委員、中村委員、野並委員、山口委員、呂委員	
	FMヨコハマ	京谷泰弘 取締役副社長、鈴木博 専務取締役、水野隆司 常務取締役、林正光 常務取締役、笠井哲哉 取締役、兒玉智彦 編成制作部部長、加藤直裕 編成部員	

議題 番組『LISTEN TO THE MOVIE』について

審議の概要

会議では、先ず、番組「LISTEN TO THE MOVIE」の概要説明に入りました。

本番組は、7月7日にスタートしたばかりの新番組で、パーソナリティには、映画の造詣が深く、また、他局の映画番組でも経験を積んでいる「柴田あずさ」を起用し、おしゃれでユーモアのあるトークで映画の魅力を引き出すことに重点をおいていることを述べ、そして、本番組の特長を3つ挙げました。

1. 昨今の県内では、複合型映画館が増えつつある。そのため、潜在的映画ファンを背景に、新しいリスナーを開拓するために企画。
2. 映画ファンによる映画ファンのための番組と位置付け、当社ならではの独自性を創出した。
3. 「新作映画の紹介」と「ゲストトーク」の2コーナーの構成。特に、「映画紹介」は、基本的には、その週に公開の作品を紹介、また、「ゲストコーナー」は、番組の核として、毎回トレンド・リーダーが出演し、映画ファンとしての視点からトークする。

以上、概要を説明し、次いで、7月14日放送の同録ダイジェストテープを試聴後、討議に入りました。先ず、各委員より、次の感想、意見等をもらいました。

- 映画と音楽は切り離せないものである。このような企画はビジネスチャンスを産むきっかけになる。
- 当社とすれば、洋画のほうがマッチするようだが、洋画と邦画の取り上げる比率をどうするか。
- 意欲的な番組で、映画を見たいという気持ちを掻き立てるようだ。特に、ヤングカップルには受けそうだ。
- 毎回、ゲストを代えるとのことだが、逆に、絞ったほうがいいのではないか。例えば、何人かをローテーションで回していくなど。
- ファンのための番組ではなく、ファンをつくる番組にしたほうがいいのではないか。
- 邦画にも若くていい監督が出てきている。これら若手の育成にも尽くして欲しい。
- あまり宣伝されていない中国、韓国、インドなどのアジアの映画にもいいものがあるので、取り上げて欲しい。
- タイトルがいい。

- ゲストによって、見方、聞き方が変わってくる。
- 横浜では、毎年、フランス映画祭を開催しているので、これらと関係し、また、側面からサポートすることも必要である。
- 映画ファンからすれば、タイムリーでないものもある。従って、リスナーのニーズに応えられる情報も必要である。

等々の感想、意見が出されました。

以上